

まなびやに別れ告げる 幼稚園修了式・小中学校卒業式

3月13日に醸芳中学校、23日に各小学校で卒業式が、また18日には醸芳幼稚園で修了式が行われました。

今年は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、規模縮小として、卒業生と保護者、教職員のみで開かれることに。醸芳中学校の大本修校長は「今年は、例年とは違う卒業式。だからこそ、この卒業式を忘れないで

いてほしい。困難な時こそ、逆転の発想をもって、前向きに人生を歩んでいける人になってほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

また、各小学校、幼稚園でも、保護者が見守る中、子どもたちは堂々と証書を受け取り、成長した姿を見せました。卒業生は「規模縮小ではあったけれど、式ができて良かった」と話しました。

1 凛々しい表情で式に臨みました（睦合小） 2,3 お世話になった恩師へ思い思いに感謝を伝えました 4 心をつ一つにお別れの歌を合唱 5 義務教育もこの日で終わり。これまで支えてくれた家族へ、感謝の思いを込めて卒業証書を手渡しました



醸芳幼稚園

古山 晴基くん



睦合小学校

遠藤 美幸さん



醸芳中学校

矢吹 ななこさん



幼稚園でいろんなことができるようになった

お父さんが幼稚園生のころに着ていた思い出の洋服を着て、修了式に出ました。幼稚園に入ってから、なわとびやホッピングが出来るようになり、補助輪なしで自転車にも乗れるようになりました。

4月からは、いよいよ小学生。自分で選んだ黒色のランドセルを背負って、小学校に通うのがとても楽しみです。

感謝の気持ちを忘れず 中学校でも挑戦し続けたい

小学校で一番印象に残っていることは、音楽祭です。ピアノを習っていたので、伴奏者に挑戦。無事に本番を成功させ、とても楽しい思い出となりました。先生方をはじめ、これまで支えてくれた皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、「できないことをできるようにする」をモットーに、中学校でもさまざまなことに挑戦したいです。

一人も欠けてはならない— 大切な仲間への感謝

これまでの学校生活で、楽しい時は一緒に笑い、辛い時は悩みを共有する、かけがえのない仲間ができました。別れは辛いけれど、それぞれ違う道に進んでも、思い出は心に残り続け、絆でつながっていると信じています。

中学校で培った自信を胸に、自分の足で歩み、明るい未来を切り拓いていきたいです。